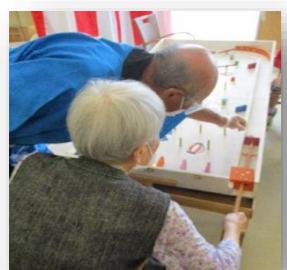


# デイケア

## 夏祭り



### コイン落とし



### 射的



### パチンコ

デイケア夏祭りを開催いたしました！  
沢山のゲームと全員参加で盆踊り！  
夏の暑さを吹き飛ばし、とっても楽しい時間になりました！

### 盆踊り



### 千本引き



### 編集後記

うららだより75号をお読みにいただき、ありがとうございます。  
今年の夏は気温が連日30°Cを超える酷暑でしたが、私は祖父母の家に帰省してスイカを食べたり、お祭りに行き花火を見たりと夏を満喫しました！  
もともと夏のうだるような暑さが苦手でしたが、季節の風物詩を楽しむことで、少しだけ気楽に過ごすことができました。  
最近では、鈴虫の鳴き声が聞こえるようになり、夏の終わり、秋の涼しさを感じる季節となりましたね。  
毎日に朝晩の冷え込みも厳しくなりますので、風邪など引かれませんようにくれぐれもご自愛ください。

広報委員 事務部 西村 千咲



### 愛媛県の花火です！

# うららだより 75号

発行日 令和6年10月1日

- 発行者 山本 正博
- 編集者 広報委員会



医療法人社団康明会 介護老人保健施設うらら  
〒651-1603 神戸市北区淡河町淡河5 7 4  
TEL 078-950-5177 FAX 078-950-5188  
URL: <http://www.roken-urara.jp>



私たちは  
地域のみなさまが  
自分らしく生きるために  
心のこもった医療と介護で  
応援します。

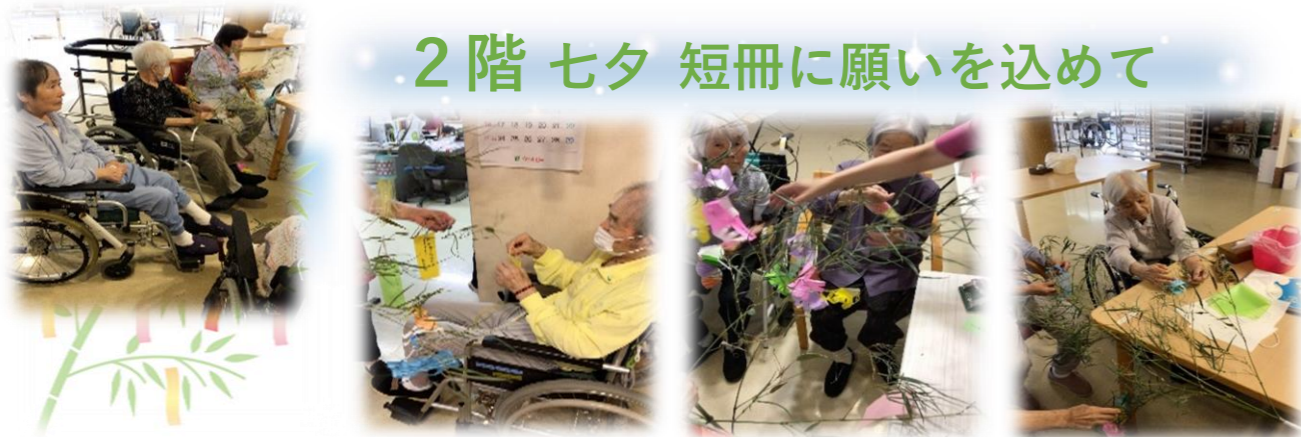
### 開設20周年のご挨拶

「うらら」は、この10月で開設20周年を迎えました。思い起こせば、開設以来ここまで順風満帆とはいきませんでした。特にこの5年間はコロナの蔓延により、入所の制限やデイケアの中止を余儀なくされました。この間、利用者様にご迷惑をかけないよう、山本施設長をはじめスタッフ一丸となって対応してまいりました。お陰様でコロナも5類感染症へと区分変更され、世の中も当施設も、やっと通常の状態へと戻りつつあります。

地域の実情や特性を十分に生かし、より一層地域に根ざしながら、今後も利用者様や家族の皆様様に認められ、愛され、信頼される施設へと発展していけるよう努力してまいります。20年間の貴重な経験を礎として更に進化し、周りに誇れるような施設へと成長すべく、熱心で優秀なスタッフと共に努めてまいりたいと存じますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 高原 哲夫

## 2階七夕短冊に願いを込めて



## 「笑いヨガ」

はひふへほの笑い体操でみんな笑顔に



## 3階 どんぶり焼き & 梅シロップ作り



## 流しそうめん



### 開設20周年のご挨拶

この度、老健「うらら」が開設20周年を迎えることになりました。地域の皆様とともにここまで歩んでこられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは、医師、看護職、介護職、リハビリ専門職、支援相談員、管理栄養士等の全職員が一丸となって、専門知識と強い使命感をもって、日々質の高いケアを提供するべく努力し、成長してまいりました。20年を経過して、医療施設等から元気に在宅復帰を果たすための中間施設として、また、在宅で療養しながら地域の生活を続けていくための在宅支援施設として、老健の果たす役割はますます大きなものになっています。20という数字は人生でいえば、しばしば成熟や完成にいたるまでの準備期間を経て成人に成長した意味に使われます。私たちは、これを機にさらなる飛躍と発展を遂げるとともに、これからも地域に貢献できる存在であり続けたいと願っています。皆様にはこれまで同様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

施設長 山本 正博

### 就任のご挨拶

この度、安田啓二事務長の後任として、10月1日より事務長を拝命いたしました。この紙面をお借りして就任のご挨拶をさせていただきます。

私は大学で経営学を専攻し、卒業後は専門学校で福祉を学び、他の福祉施設で介護ボランティアと介護職の経験を積み、20年前の9月に当施設のオープニングスタッフとして入職いたしました。入職当時は介護職員として勤め、その後、支援相談員・介護支援専門員として利用者様・家族様の相談業務に携わってまいりました。平成29年からは施設のハード面、ソフト面の管理全般を担当することとなり、業務を通じて様々な課題に直面することもありましたが、それ以上に多くのことを学ばせていただきました。未熟ながらも今日まで私が成長できたのは、ひとえに安田啓二事務長ならびに共に働いてきた職員、また、地域の皆様のお陰であると心から感謝しております。

当施設の果たすべき役割は、地域の皆様が真に必要なとされているものはなにかを正しく捉え、時代の流れに沿った医療と介護を提供することです。そのためにも職員の誰もが働きやすく充実した職場環境を提供することが重要であると感じており、私は相互の信頼関係のもと、職員が意見を出し合い、生産性高く働ける環境を整えていくことを使命の一つと考えております。

まだまだ浅学非才の身ではございますが、これまで学んできたことを糧として誠意と努力をもって職責を全うしたいと思いますので、これからも皆様のご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

事務長 上月 稔彦

### 退任のご挨拶

平成16年10月1日の開設以来20年間、自然環境豊かな淡河の地で勤務させていただきましたが、20周年という節目に65歳で引退することになりました。自治会、婦人会、老人会をはじめ地域の皆様には本当にお世話になりました。そして利用者様、家族様にはいつも施設の運営にご理解と協力をいただき深く感謝申し上げます。

10月に新事務長に就任しました上月稔彦は、山本施設長と同じく地元淡河の出身で、私と同じくオープニングスタッフで経験を積んでおります。これからも職員一丸となって地域の皆様から愛され続ける施設を目指し日々努力を重ねてまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

前事務長 安田 啓二